

3 福佐地方の情勢

福岡依買と称する農家戸数は福岡十四万九千依買七千戸余でその中小作農は福岡四万六千依買一万四千余戸と推測される。福岡県に於ける農家戸数は左の通りである(本年を有現在勢課発表表)

福岡県農家戸数	
自作	42351
自小作	61415
小作	46116
計	149882
耕地所有者数	
五十町以上	20
十町以上	861
五町以上	2260
三町以上	5238
一町以上	25949
五反以上	32822
五反以下	66452
計	133652

前年に比し農家戸数は四二戸人員において二千三百十八人の増加となつてゐる。

福佐地方に於ける農民の生活は宮崎鹿兒島大分等に比して従来比較的余裕があるかの如く言われてきたが、

- 一 根本的には廣大な自作耕地(筑前平野の如き)を有すること。
- 一 好景氣時に農村子弟や小作農民の多くは土地を賣却して北九州の大工場、筑豊の砂山、大牟田に於ける三井の砂山工場にゆりまに、或はたため農村定住者の平均耕作反割の増加となつたこと(筑豊地方では田を作る者がなくて荒れてゐたことがある)。
- 一 農村子弟子女の多くは工場に通勤しゆらぎ、弟姉賃銀はイクラか家計の補助を寄してゐたこと。

に原因してゐたものであらう。だが農産物の崩落は年々農民の収入が減り、殊に工場砂山の首切り、賃銀値下げ、工場閉鎖は多くのゆま年を送つてゐた農村に、失業のため